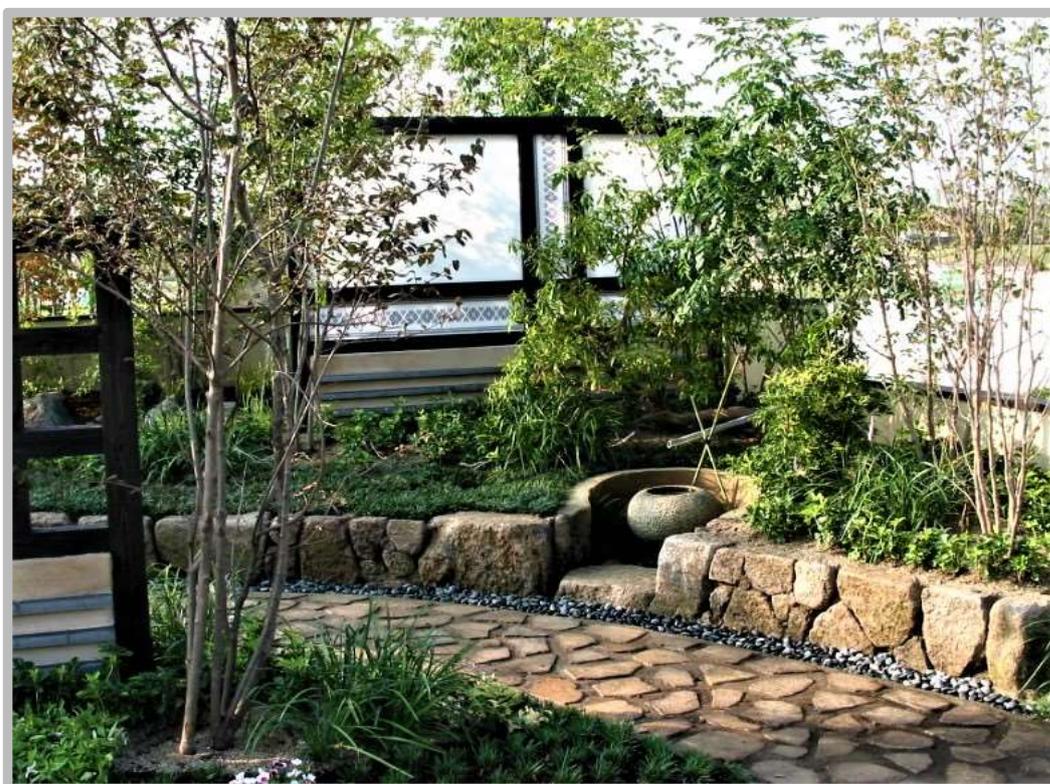


エコアクション21 環境経営レポート

2024年度版
(運用期間:2024年1月~2024年12月)



当社施工例

発行日 2025年1月15日



福岡造園株式会社

目 次

1.環境経営方針	1
2.組織の概要	2
3.認証・登録の対象組織・活動	2
4.環境経営目標	3
5.環境経営計画	4
6.環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
6-1 エコアクション21実施体制	5
6-2 2024年度に実施した環境への取組	6
6-3 この10年間の取組成果(足跡)	9
7.環境経営目標の実績	10
8. 環境経営計画の取組結果と評価	12
9. 次年度の計画	13
10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	15
11.代表者による全体の評価と見直し	15

1. 環境経営方針

<環境経営理念>

私たち福岡造園株式会社は、「みどり」を通して豊かで美しい街づくりに参画することを経営理念として掲げ、造園に関する設計、施工、管理の事業活動を行い、樹木医・ビオトープ管理士による提案から施工管理まで誠意のある対応を強みとして、人と自然が共生できる環境づくりに取り組んで参りました。

今私たちは、こうした事業活動に伴うエネルギーや資材の使用が地域及び地球の環境に影響を与えていることを十分に自覚し、全社をあげて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。



<環境行動指針>

当社の環境理念に基づき深刻化する環境問題への対応を最重要課題とし、この事業活動に於いて環境への影響を抑制し、環境負荷の削減等を推進するために以下の事項について自主的、積極的、継続的に取り組みます。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は次の項目を重点項目として、環境活動を計画的に取組み実施します。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減(建設リサイクルの推進)
 - (3) 水使用量の削減
 - (4) 化学物質の適正管理
 - (5) 造園の工事や樹木等の植物管理において、自然の摂理や植物の生理に逆らわないこと、及び地域の植生や生態系に配慮した在来種の活用など、環境負荷の低減に寄与する施工法の実施。
 - (6) 施工や管理の事前準備(計画・段取り)を徹底、環境負荷の低減に向けた作業の効率化(最小限の工数)と完成度の高い施工(品質)の実施。
3. 環境経営の継続的改善に努めます。
4. 当社の毎年の環境への取組状況を環境経営レポートにとりまとめ、全社員に周知させ一般にも公表します。

制定日 2012年9月20日

改定日 2024年2月15日

福岡造園株式会社

代表取締役 甲斐 洋一

2.組織の概要

- (1) 事業所名 福岡造園株式会社
- (2) 代表者名 代表取締役 甲斐 洋一
- (3) 所在地 本社: 〒814-0155・福岡市城南区東油山1丁目10番2号(倉庫・資材置き場を含む)
農場: 〒811-1114・福岡市早良区大字椎原字小爪1379-1
- (4) 環境管理責任者 工事部課長 安部 恒彦
担当者 工事部課長 安部 恒彦
- 連絡先 電話 092-863-6737
FAX 092-861-9083
E-mail abe@fukuokazonen.com
- (5) 事業の内容 造園土木・緑化工事業全般
建設業許可:福岡県知事(特第28198号)
- (6) 事業の規模 資本金 2,000万円
売上高 10,660万円(2024年度)
- | 区分 | 単位 | 本社 | 倉庫 | 資材置場 | 農場 |
|-------|----------------|----|----|------|-------|
| 従業員数 | 人 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| 延べ床面積 | m ² | 92 | 87 | 27 | 4,486 |
- 備考)農場は電気・水道の使用なし。
- (7) 事業年度 1月～12月

3.認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象事業所 本社・倉庫・資材置場、農場
- (2) 対象活動 造園工事業、土木工事業

4. 環境経営目標

- ・環境経営目標は、当社の事業活動を踏まえ、2024年度～2027年度までの中長期目標として、以下の6項目10目標をサイト区分(事務所、現場、全社)して設定しました。
- ・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量については、基準年(2018年度～2022年度の5年間実績平均値)を基準に、2027年度までに5.0%削減を目指します。また売上高の変動を受けても生産効率を評価できるよう、売上高あたりの原単位目標を追加設定しました。
- ・事業活動で取り組む本業目標として「希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進」と「樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング」を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。
- ・当社はエコアクション21の取組を通じて、SDGsの推進に取り組んでいます。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2018年度～ 2022年度 実績平均値	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				2024年1月～12月 (2.0%削減)	2025年1月～12月 (3.0%削減)	2026年1月～12月 (4.0%削減)	2027年1月～12月 (5.0%削減)
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	13,835	13,558	13,420	13,282	13,143
	全社	kg-CO ₂ /百万円	86.8	85.0(維持)	85.0(維持)	85.0(維持)	85.0(維持)
(1) 電気使用量の削減	全社	kWh	7,219	7,075	7,002	6,930	6,858
(2) ガソリン使用量の削減	現場	L	3,176	3,112	3,081	3,049	3,017
(3) 軽油使用量の削減	現場	L	1,296	1,270	1,257	1,244	1,231
2 廃棄物排出量の削減							
(1) 一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	kg	3,422	3,354	3,319	3,285	3,250
(2) 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	93	90(維持)	90(維持)	90(維持)	90(維持)
3 水使用量の削減							
(1) 上水使用量の削減	事務所	m ³	21.4	21.0	20.8	20.5	20.3
4 化学物質使用量の削減及び適正処理	現場	kg	2.23	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5 希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等	現場	件	5.5	3	3	3	3
6 樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング	事務所	回	6	4	4	4	4

備考)・二酸化炭素排出量の計算において、購入電力の調整後排出係数0.385kg-CO₂/kWh(2021年度九州電力(株))を使用しました。

- ・()内の数値は、基準年に対する削減率を示す。
- ・目標値(維持)は、維持目標を示す。
- ・サイト区分の全社とは、事務所+現場を示す。

5. 環境経営計画

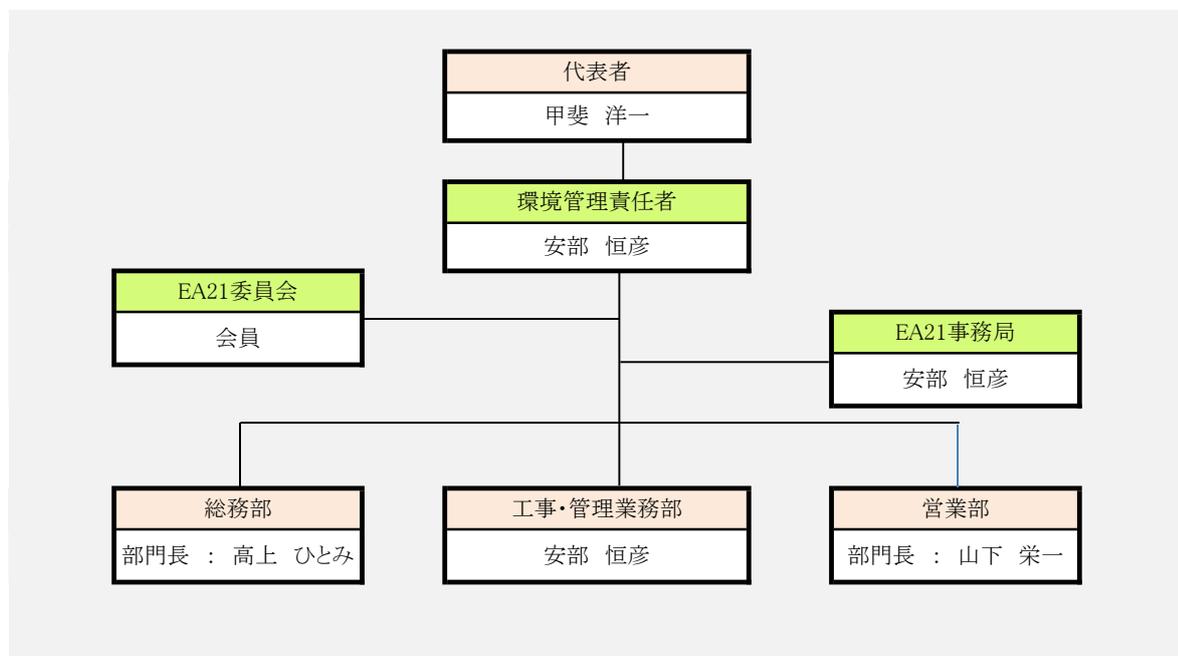
・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(活動項目)を設定して、全従業員で取り組みました。

目標	サイト	責任者	活動項目	スケジュール
1 二酸化炭素排出量の削減				
(1) 電気使用量の削減	事務所	安部	①無駄な電灯の消灯	通年
			②エアコンの適温化の徹底	冷房期:7~9月 暖房期:12~2月
			③エアコンフィルターの清掃	冷房期:7~9月 暖房期:12~2月
			④パソコン等の省電力設定	通年
(2) ガソリン・軽油等使用量の削減	現場	安部	①アイドリングストップの実施	通年
			②エコドライブの実施	通年
2 廃棄物排出量の削減				
(1) 一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	高上	①分別の徹底による一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減	通年
			②リサイクル可能品の分別の徹底	通年
			③裏紙使用の促進による廃棄物排出量の削減	通年
(2) 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	安部	①分別の徹底による産業廃棄物の適正管理	通年
			②マニフェスト管理の徹底	通年
			③リサイクル可能品の分別の徹底	通年
3 水使用量の削減				
(1) 上水使用量の削減	事務所	高上	①不必要・無駄なトイレ流水の禁止	通年
			②道具・機械等、洗浄時の必要最小限での使用	通年
4 化学物質使用量の削減及び適正管理				
化学物質の削減及び適正管理	現場	山下	①殺虫剤・除草剤等の適正管理(購入・使用数量等)	通年
			②農薬・薬剤使用手順書に従っての使用の徹底	散布期間:5~10月、12~2月
			③薬剤散布時等の必要最小限での計画・使用	散布期間:5~10月、12~2月
5 希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等				
希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動による活動	現場	安部	①樹木医・ビオトープ管理士指導の下に行う活動	通年
6 樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング				
研修・ミーティングの実施	事務所	高上	①四半期毎に研修・ミーティングを計画、実施	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2024年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・実施に当たっては、社内にエコアクション21を推進する次のような実施体制を構築して、全従業員が一丸となって取り組みました。

6-1 エコアクション21実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営全般について責任と権限を持つ ・経営における課題とチャンスを明確化する ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者・EA21事務局を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・物・金等)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標・環境経営計画を作成する ・定期的に環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を把握する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回開催する ・取組状況の定期的な確認・評価 ・問題点発生時の是正処置検討
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21文書・記録及びデータの作成・集計・管理を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・発生した問題点の是正処置・予備処置を実施する ・関連する法規制等を遵守する ・緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・教育・訓練を実施する ・社外からの環境に対する苦情・意見を受け付ける(総務)
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

6-2 2023年度に実施した環境への取組



・環境経営計画に基づき以下の取組をSDGs (17のゴール)と紐付けて実施しました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減



- ・使っていない電灯はこまめに消灯しました。
- ・エアコンによる室温管理(冷房期27℃、暖房期23℃)を実施しました。
- ・パソコンは省エネモードに設定しています。



エアコンによる室温管理



昼休みの消灯

(2) 軽油、ガソリン使用量の削減



- ・社有車を運転するとき、駐車時、積み込み時はアイドリング・ストップを実施し、エコドライブに心がけました。
- ・定期的な車両整備(タイヤ空気圧の定期点検)を実施しています。



エコドライブ10のすすめ



タイヤ空気圧の点検

2. 廃棄物排出量の削減



(一般廃棄物)

- ・事務所ごみの排出量を計測し、資源ごみ、燃えるごみの分別を徹底し、リサイクルに努めました。
- ・裏紙使用を徹底し、廃棄物排出量を削減しています。

(産業廃棄物)

- ・分別を徹底し、マニフェスト発行による適正処理を行いました。



事務所ごみの分別排出



マニフェストの適正管理

3. 水使用量の削減



- ・給湯室に節水シールを表示して、節水に努めました。
- ・農薬散布時には地下水を用いて、必要最小限の水使用量としています。



節水啓発シールの掲示



農薬散布用タンク(地下水使用)

4. 化学物質使用量の削減及び適正処理



- ・殺虫剤・除草剤等の適正管理(購入・使用数量等)を実施しています。
- ・農薬・薬剤使用手順書に従っての適正使用を行っています。



農薬保管庫の管理



農薬使用手順書

5. 福岡市Well-being&SDGs登録



- ・福岡市Well-being&SDGsマスター登録しました。



福岡市Well-being&SDGs登録

6. 樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修



・自然環境保全の学習会を開催しました。



自然環境保全の社内学習会

2月・4月

担当者毎の問題報告・相談

樹木医・ビオトープ管理士による報告事項
に対する確認、対応指示・協議

7月

樹木医・ビオトープ管理士による
樹木管理施設への現地確認・調査
社内での現状報告・評価 今後の課題・注意

10月

受注工事における 確認事項・注意点
予定工程協議

愛宕の森保全作業 確認事項

12月

樹木医・ビオトープ管理士による
樹木管理施設の冬期注意事項、
管理予定指示・協議

7. 希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進



・希少木の保全活動を実施しました。



希少木保全活動

1月

ツクシヤマザクラ 枯枝除去、生育環境整備
保全木 周囲 支障木・支障枝撤去作業

5月

地域ボランティアの方との、現地調査、
今後の方針協議

7月

今年度保全箇所選定、保全木現地確認
保全作業内容確認・協議

10月

作業協力者との、保全木現地確認
作業時の安全確認・協議

12月

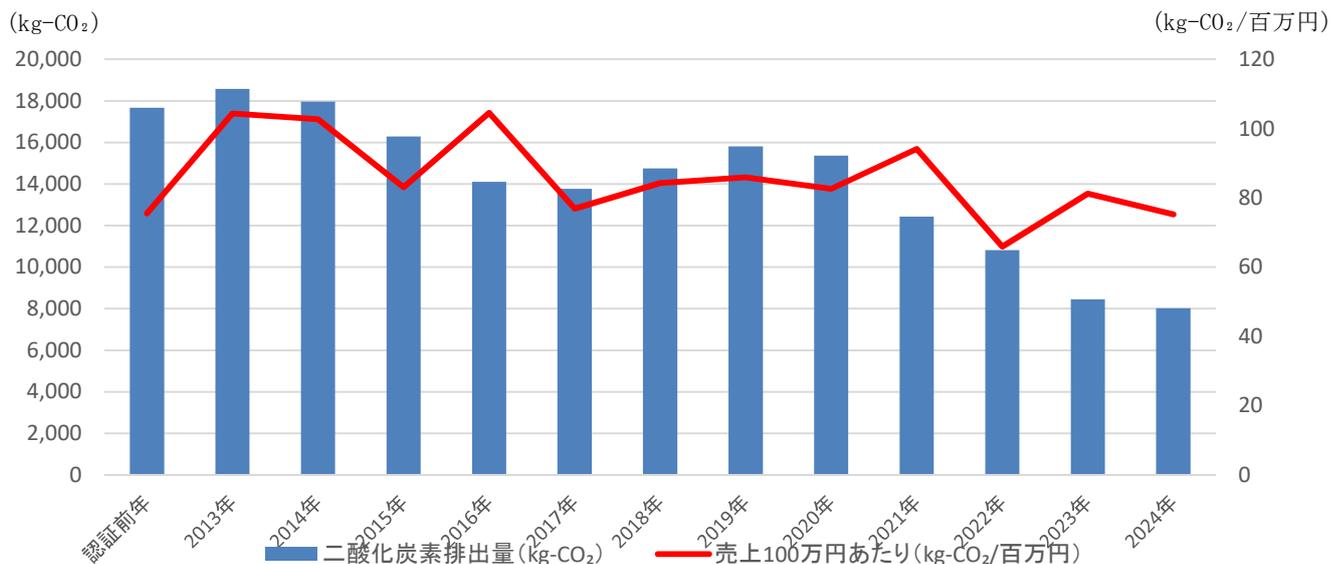
ツクシヤマザクラ 枯枝除去、生育環境整備
保全木 周囲 支障木・支障枝撤去作業

- ・福岡市西区、愛宕神社がある愛宕山は古い歴史のある鎮守の森であり、希少な植物も生息している。
- ・ツクシヤマザクラは海岸性で、福岡市周辺では愛宕の他、志賀島や糸島海岸など限られた地域でしか見られない野生種である。
- ・愛宕山にはツクシヤマザクラの可能性が高い個体が十数本あり、保全への取り組みが「愛宕の森と緑を守る会」を中心に行われ、弊社も活動に協力している。
- ・現存するツクシヤマザクラは周囲のシイヤクスなどの常緑樹及びツル性植物に被圧されて、枯死寸前の個体が多く、保全のための取り組みが急務となっている。
- ・保全作業は落葉後の冬期に被圧している周囲の常緑樹の剪定や間伐を行うことで、ツクシヤマザクラの日照改善を図ることが主な目的であり、車両が入れない林内作業のため、直接木に登るロープワークで行っている。

6-3 この10年間の取組成果(足跡)

・二酸化炭素排出量の削減推移

※2012年より運用開始、2012年度は運用期間（3ヶ月間）のため除く



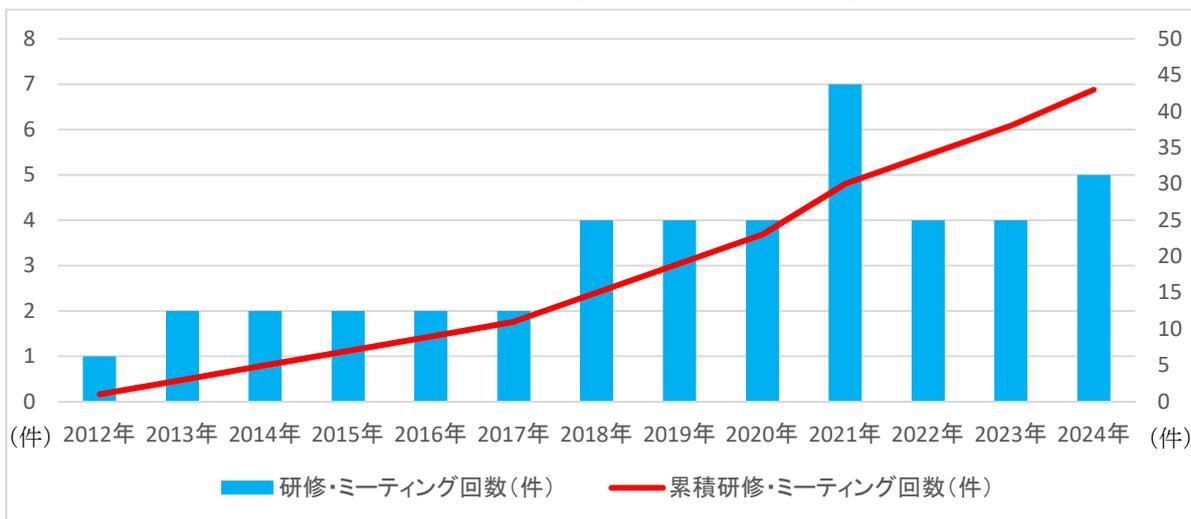
・環境緑化活動推の推移

※2012年より運用開始、2012年度は運用期間（3ヶ月間）での集計



・人材育成活動の推移

※2012年より運用開始、2012年度は運用期間（3ヶ月間）での集計



7. 環境経営目標の実績

- ・2024年度の環境経営目標達成状況は、以下のとおりです。
- ・設定した6項目11目標のうち、6項目10目標で環境経営目標を達成できました。
- ・当社の最大の環境負荷となっている二酸化炭素排出量は、繁忙期の事務所作業の増加で事務所の電気使用量(換気状態でのエアコン・パソコン・コピー機使用等)が増加しましたが、会社全体では目標達成率150%以上で、良好な取組結果となっています。
- ・目標未達成となった、産業廃棄物 リサイクル率の向上については、今後も継続して廃棄物の分別回収・搬出は適正に行い、目標の設定について検討します。
- ・今後も継続して環境意識を高め、従業員が一丸となって取組を徹底させていきます。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	2024年度 (2024年1月～12月)		目標達成率	目標達成判定	
			2018年度～ 2022年度 実績平均値	目標値 (2.0%削減)	実績値			
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	13,835	13,558	8,020	169%	◎	
	全社	kg-CO ₂ /百万円	86.8	85.0	75.2	113%	○	
	(1) 電気使用量の削減	全社	kWh	7,219	7,075	6,745	105%	○
	(2) ガソリン使用量の削減	現場	L	3,176	3,112	1,573	198%	◎
	(3) 軽油使用量の削減	現場	L	1,296	1,270	688	185%	◎
2.廃棄物排出量の削減								
(1) 一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	kg	3,422	3,354	2,630	128%	◎	
(2) 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	%	93	90	80	88%	△	
3.水使用量の削減								
(1) 上水使用量の削減	事務所	m ³	21.4	21.0	12.0	177%	◎	
4.化学物質の削減及び適正管理	現場	kg		適正管理	適正管理した	-	○	
5.希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等	現場	件	5.5	3	4	133%	◎	
6.樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング	事務所	回	6	4	5	125%	◎	

備考) 1.目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100 増加目標の場合: 実績÷目標×100
 2.目標達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

8. 環境経営計画の取組結果と評価

- ・環境経営計画の取組実施状況は以下のとおりです。
- ・環境経営計画で定めた活動項目については、全体としては適切に実施する事が出来ました。

取組対象	サイト区分	目標達成判定	活動項目	実施状況判定	評価
1.二酸化炭素排出量削減	全社	◎		◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。
	売上高あたり	○		○	
(1)電気使用量の削減	事務所	○	無駄な電灯の消灯	○	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。 ・繁忙期にも適時・適温等を考慮しながら削減に努めていきます。
			エアコンの適温化の徹底	○	
			パソコン等の省電力設定	○	
(2)ガソリン使用量の削減	現場	◎	アイドリングストップの実施	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。
			エコドライブの実施	◎	
(3)軽油等使用量の削減	現場	◎	アイドリングストップの実施	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。
			エコドライブの実施	◎	
2.廃棄物排出量の削減					
(1)一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	◎	分別の徹底による一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。
			リサイクル可能品の分別の徹底	◎	
			裏紙使用の促進による廃棄物排出量の削減	◎	
(2)産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	△	分別の徹底による産業廃棄物の適正管理	○	・目標値は未達成ですが、適正管理は実施できていますので今後も継続して行っていきます。
			マニフェスト管理の徹底	○	
			リサイクル可能品の分別の徹底	○	
3.水使用量の削減					
(1)上水使用量の削減	事務所	◎	不必要・無駄なトイレ流水の禁止	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。 ・使用量の多い月もあるので、取組を徹底して継続していきます。
			道具・機械等、洗浄時必要最小限の使用		
4.化学物質の削減及び適正管理	現場	○	殺虫剤・除草剤等の適正管理(購入・使用数量等)	○	・適正に管理はできています今後も継続して行っていきます。
			農薬・薬剤使用手順書に従ったの使用徹底	○	
			必要最小限での計画・使用	○	
5.希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等	現場	◎	希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。
6.樹木医・ピオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング	事務所	◎	四半期毎に研修・ミーティングを計画、実施	◎	・実施できていますので今後も継続して行っていきます。

備考)・目標達成判定区分 ◎:目標達成率120%以上、○:100%以上120%未満、△:80%以上100%未満、×:80%未満、-:判定不可
・実施状況判定区分 ◎:よく実施できた、○:実施できた、△:実施できたが十分とは言えない、×:不十分であった -:判定不可

9. 次年度の計画

(1) 環境経営目標

・次年度目標は以下のとおりとします。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標			
			2018年度～ 2022年度 実績平均値	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				2025年1月～12月 (3.0%削減)	2026年1月～12月 (4.0%削減)	2027年1月～12月 (5.0%削減)	2027年1月～12月 (5.0%削減)	
1 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	13,835	13,420	13,282	13,143	13,143	
	全社	kg-CO ₂ /百万円	86.8	85.0(維持)	85.0(維持)	85.0(維持)	85.0(維持)	
	(1) 電気使用量の削減	事務所	kWh	7,219	7,002	6,930	6,858	6,858
	(2) ガソリン使用量の削減	現場	L	3,176	3,081	3,049	3,017	3,017
	(3) 軽油使用量の削減	現場	L	1,296	1,257	1,244	1,231	1,231
2 廃棄物排出量の削減								
	(1) 一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	kg	3,422	3,319	3,285	3,250	3,250
(2) 産業廃棄物のリサイクル率の維持	現場	%	93	90(維持)	90(維持)	90(維持)	90(維持)	
3 水使用量の削減								
	(1) 上水使用量の削減	事務所	m ³	21.4	20.8	20.5	20.3	20.3
4 化学物質使用量の削減及び適正処理	現場	kg	2.23	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	
5 希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等	現場	件	5.5	3	3	3	3	
6 樹木医・ビオトープ管理士による人材育成技能研修・ミーティング	事務所	回	6	4	4	4	4	

備考)・二酸化炭素排出量の計算において、購入電力の調整後排出係数0.385kg-CO₂/kWh(2021年度九州電力(株))を使用しました。

- ・()内の数値は、基準年に対する削減率を示す。
- ・目標値(維持)は、維持目標を示す。
- ・サイト区分の全社とは、事務所+現場を示す。

(2) 環境経営計画

・次年度の環境経営計画は追加項目を入れて以下のとおり立案しました。

青字：追加取組

環境経営目標	サイト	責任者	活動項目	スケジュール
1 二酸化炭素排出量の削減				
(1) 電気使用量の削減	事務所	安部	①無駄な電灯の消灯	通年
			②エアコンの適温化の徹底	冷房期:7~9月、 暖房期:12~2月
			③パソコン等の省電力設定	通年
(2) ガソリン・軽油等使用量の削減	現場	安部	①アイドリングストップの実施	通年
			②エコドライブの実施	通年
2 廃棄物排出量の削減				
(1) 一般廃棄物(焼却・埋立)排出量の削減	事務所	高上	①分別の徹底による一般廃棄物(可燃ごみ)排出量の削減	通年
			②リサイクル可能品の分別の徹底	通年
			③裏紙使用の促進による廃棄物排出量の削減	通年
(2) 産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	安部	①分別の徹底による産業廃棄物の適正管理	通年
			②マニフェスト管理の徹底	通年
			③リサイクル可能品の分別の徹底	通年
3 水使用量の削減				
(1) 上水使用量の削減	事務所	高上	①不必要・無駄なトイレ流水の禁止	通年
			②道具・機械等、洗浄時の必要最小限での使用	通年
4 化学物質使用量の削減及び適正管理				
化学物質の削減及び適正管理	現場	山下	①殺虫剤・除草剤等の適正管理(購入・使用数量等)	通年
			②農薬・薬剤使用手順書に従っての使用の徹底	散布期間:5~10月、12~2月
			③薬剤散布時等の必要最小限での計画・使用	散布期間:5~10月、12~2月
5 希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動の推進等				
希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動による活動	現場	安部	①樹木医・ビオトープ管理士指導の下に行う活動	通年
			②希少木、絶滅危惧種・古木の保全活動等	通年
			③保全活動を行う方への助言、指導活動等	通年
6 樹木医・ビオトープ管理士による人材育成 技能研修・ミーティング				
研修・ミーティングの実施	事務所	高上	①四半期毎に研修・ミーティングを計画、実施	通年

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動において適用される主な環境関連法規等は次のとおりです。
- ・2025年1月10日に環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

(遵守判定 ○：遵守 ×：不遵守 -：該当無し)

適用される法規制等	適用される事項	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正管理	○
騒音規制法	建設用機械・重機等の適正使用で騒音レベルの遵守	○
振動規制法	建設用機械・重機等の適正使用で振動レベルの遵守	○
オフロード法	建設用機械・重機等の適正使用	○
自動車リサイクル法	自動車の購入、廃棄時のリサイクル対応	-
家電リサイクル法	電化製品購入、廃棄時のリサイクル対応	-
農薬取締法	殺虫剤・殺菌剤等適正使用と使用保管管理	○
毒物及び劇物取締法	殺虫剤・殺菌剤等適正使用と使用保管管理	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検	○
建設リサイクル法	建設資材の分別解体と再資源化	○
消防法	ガソリン・軽油等の運搬・保管の適正管理	○

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

今回の2024年度運用期間終了後に、代表者による取組状況の全体評価と、計画の見直しの必要性を検討しました。結果は、以下のとおりです。

(1) 取組の評価結果

- ・環境経営目標の達成状況は、産業廃棄物のリサイクル率の向上が達成できませんでしたが、その他の項目は従業員間の削減努力が堅調に推移できたため、通期での目標を達成できました。したがって、今期も昨年度に続き二酸化炭素排出量の削減目標を達成できました。しかしながら今年目標達成についても、昨年度も指摘した通り、受注工事の量や内容が大きく影響したと思われます。
- ・当社の利点を活かした受注の安定化を図ると共に、今後の削減目標の達成については変動幅が少ない作業量に応じた目標の設定などが必要です。
- ・今後も継続して内容を検討し、従業員各自の環境意識の向上を図って参ります。

(2) 見直しの結果

- ・今回の運用成績を踏まえて、次年度の環境経営目標は目標項目と削減率を再確認し、環境経営計画は本業目標における取組項目に追加した内容として、他社との差別化を図ります。
- ・今回1項目を除き目標を達成できたことに安心することなく、今後の必要な取組を再確認・再考し、取組の周知徹底に務めて下さい。
- ・達成できなかった産業廃棄物のリサイクル率の向上についても適正な分別を続けて、目標の達成に繋げて下さい。



代表取締役
甲斐 洋一